

Nittobo

第157期

日東紡 株主通信

2017年4月1日 ~ 2017年9月30日

- 株主の皆様へ
- 事業紹介
- トピックス
- 財務ハイライト(連結)
- 財務諸表(連結)

株主の皆様にはますますご清栄のことと拝察申し上げます。

ここに当社グループ第157期第2四半期（2017年4月1日から2017年9月30日まで）の業績をご報告申し上げます。

取締役 代表執行役社長 辻 裕 一

当第2四半期（2017年4月1日から9月30日まで）の業績

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、力強さに欠けるものの緩やかな回復基調が続きました。また、米国新政権の政策動向やアジアにおける地政学的なリスクはあるものの、世界経済も緩やかな回復が続きました。

このような環境の下、当社グループの連結売上高は431億72百万円（前年同期比5.6%増）、連結営業利益は62億36百万円（前年同期比13.9%増）、連結経常利益は64億81百万円（前年同期比22.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は74億28百万円（前年同期比104.4%増）になりました。

今後につきましては、引き続き事業基盤の強化と企業価値の向上に努めてまいります。

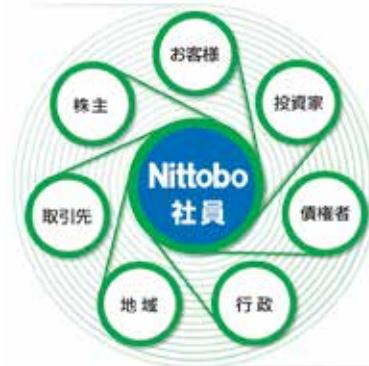
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますよう、何とぞ宜しくお願い申し上げます。

経営理念

日東紡グループは「健康・快適な生活文化を創造する」企業集団として社会的存在価値を高め、豊かな社会の実現に貢献し続けます。

日東紡宣言

- 日東紡グループは社会の「ベストパートナー」を目指します。
(日東紡BP宣言)
- 私たちは、お客様の求めるものを絶えず追究し、お客様に「安心と信頼」を誠実にお届けすることを喜びとします。
また、企業活動を通じ株主・投資家・行政・地域社会等すべてのステークホルダー（社会）と共に喜びを分かち合うことを大切にします。
- 私たちは自立した一人ひとりの社員の可能性を尊び、自由闊達にアイデアを出し合いながらチームワークにより力を発揮する企業集団を目指します。
- 私たち企業グループは社員の成長が会社の成長であることを信じ、社員に成長と自己実現の機会を提供します。
社員はまず第一に良き市民であり、深く考え、広く見渡し、果敢に行動します。そして粘り強くやり遂げます。

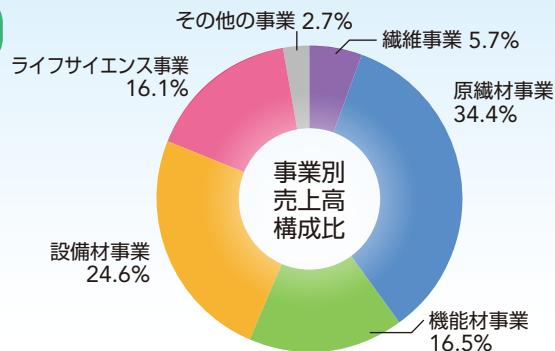


深く 広く 強く そして温かく

当第2四半期 事業セグメント別業績

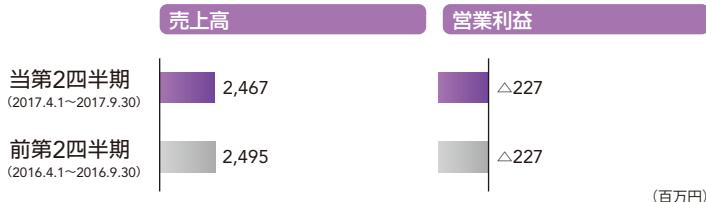
事業セグメント別の売上構成比は右グラフの通りです。

また、当第2四半期の事業セグメント別の売上高、営業利益は以下の通りです。



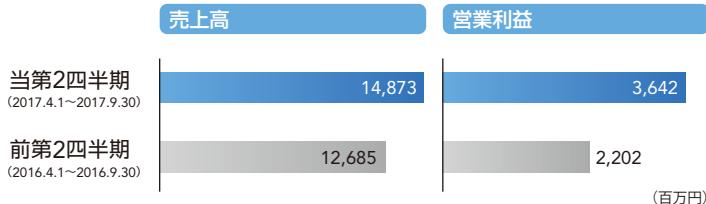
繊維事業

繊維事業では、主力の芯地販売が国内で低迷、二次製品販売も低迷しましたが、高付加価値品の開発・販売等により収益性の改善に努めました。



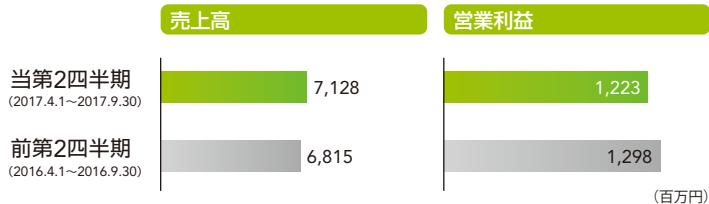
原織材事業

原織材事業では、強化プラスチック用途の販売が好調に推移しました。また、高付加価値品の生産能力増強や生産効率化を推進しました。



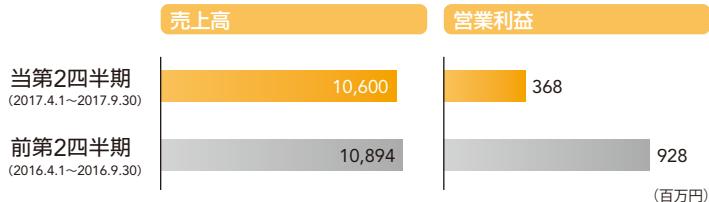
機能材事業

機能材事業では、高機能サーバーや基地局向け等の電子材料用途の需要が堅調な状態を維持しました。



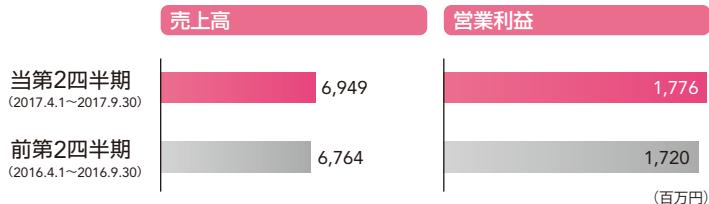
設備材事業

設備材事業では、住宅向け断熱材の需要は安定的に推移しましたが、第1四半期に実施した大型の設備改修により収益が悪化しました。



ライフサイエンス事業

ライフサイエンス事業では、免疫系診断薬を中心に国内、海外への拡販と、原価低減に努めました。また、飲料分野では新規顧客獲得に注力しました。



※従来「機能材事業」に含まれていた(株)双洋の一部事業を「原織材事業」および「設備材事業」に、「設備材事業」に含まれていた(株)日東紡テクノを「その他」に変更しています。また、従来「環境・ヘルス事業」としていた事業セグメントの名称を「ライフサイエンス事業」に変更しています。なお、前第2四半期のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しています。

繊維事業

事業内容 ストレッチ素材の二層構造糸C・S・Y®や「日東紡の新しいふきん®」など、衣料用途から生活に密着した製品まで幅広く提供しています。

「ジャパン・エコテックス・アワード2017」にノミネート

9月27日、国際的な繊維製品の安全性基準を定めるエコテックス国際共同体の25周年を記念し、日本事務局である(一財)ニッセンケン品質評価センターが都内のホテルでディナーパーティーを開催しました。このパーティーには、エコテックスの認証を受けた国内企業の中で、安全な製品の普及に貢献した企業を表彰する「ジャパン・エコテックス・アワード2017」にノミネートされた企業が招待されました。

日東紡も、「日東紡の新しいふきん®」をはじめとした製品について認証を取得しており、ノミネート企業として参加しました。

惜しくも受賞は逃したものの、消費者の安全に対する要求が高まる中、これからも安全・安心な製品の提供に努めていきます。



日東紡（中国）有限公司 開業20周年

本年9月に、日東紡（中国）有限公司は開業20周年を迎えました。

主に衣料用芯地の生産と販売を行う国外グループ会社として、日系アパレル、中国ローカルアパレル、アジア、欧米に向けて、高品質な芯地を提供しています。また、顧客需要に応えるため、縫製技術サービスに注力するとともに、環境への負荷を低減するため、環境技術の開発にも努めます。

この20年の歩みは決して平坦ではありませんでしたが、今では日東紡の芯地事業の中核工場として大きな役割を担っています。今後も「日東紡の芯地」を全世界に発信していきます。



グラスファイバー事業部門

原織材事業

事業
内容

ヤーン、ロービング、チョップドストランド等の特徴あるグラスファイバー原織製品を、強化プラスチック用途や電子材料用途など幅広く提供しています。

機能材事業

事業
内容

グラスファイバーのヤーンを加工したガラスクロス等の高性能な機能製品を、電子材料用途や産業資材用途等に提供しています。

設備材事業

事業
内容

土木・建築用途や産業用途の幅広いグラスファイバー製品や、住宅用断熱材用途等の高性能なグラスウールを提供しています。

高強度グレードガラス繊維の生産能力を増強

グラスファイバー事業部門では、「T-Glassヤーン」の生産能力を増強しました。

「Tガラス」は、汎用の「Eガラス」に比べて、低CTE（低熱膨張）特性及び高引張弾性特性を持ち、優れた寸法安定性と剛性の向上を実現できます。

情報通信分野では、機器の小型化や通信の高速化・大容量化を背景として、実装時の熱から基板の反りを抑制するため、熱膨張係数の低いTガラスが、スマートフォン・タブレット向けのサブストレート（ICパッケージの中の基板）に用いられています。

グラスファイバー事業部門では、増産したT-Glassヤーンを加工して、「T-Glassクロス」を生産し、基板メーカー等に供給することで、これらの基板等での利用の需要増加に応じてまいります。

原織材事業



プラスチック成形加工学会

6月14・15日の2日間、タワーホール船堀にて「プラスチック成形加工学会第28回年次大会」が開催されました。毎年この大会には多くの企業、大学および官公庁から700名を超える技術者が参加し、技術交流を図っています。

大会初日には、総合研究所ファイバー研究開発センターで新しく開発された高強度高弾性ガラス（HME®ガラス）繊維の衝撃特性に関して講演が行われ、最新の研究に基づくガラス繊維の新たな魅力について紹介がなされました。

会場は約100名の聴衆で満席となり、繊維強化複合材料（FRP/FRTP）が脚光を浴びている中、ガラス繊維に対する期待や関心の高さがうかがえました。

機能材事業



ライフサイエンス事業

事業内容 メディカル事業部門では体外診断薬やポリマー素材製品等の製造・販売を、環境・ヘルス事業部門ではグリーンビジネスや清涼飲料水の製造・販売を行う飲料事業を展開しています。

細菌迅速同定用 前処理キット 「rapid BACpro® II」販売開始

ニッポーメディカル(株)は、4月3日に細菌迅速同定用 前処理キット「rapid BACpro®」をリニューアルした「rapid BACpro® II」を販売開始しました。

敗血症など一刻を争う症状に対し迅速な細菌同定検査を可能とした「rapid BACpro®」の集菌工程を改善し、「rapid BACpro® II」ではさらなる同定結果の向上を実現しました。

販売開始直後から反響は大きく、多くのお客様にご採用いただいております。



平成29年度「食品衛生優良施設厚生労働大臣表彰」の受賞

ニッポービバレッジ(株)は、9月20日付で平成29年度食品衛生優良施設に選ばれ、10月26日に開催された表彰式にて厚生労働大臣表彰を授かりました。「食品衛生優良施設表彰」は、厚生労働省が食品工場、飲食店などの食品衛生施設を表彰するものであり、今年度は全国で105施設が対象となりました。

同社は、清涼飲料水の製造受託会社として、ISO9001およびFSSC22000を認証取得し、多品種小ロット生産における品質管理体制の構築を行うとともに、従業員の教育を徹底し、1997年の創業以来20年間「安全でおいしい清涼飲料水」を提供し続けてまいりました。

これからも、お客様のご要望に応じた製品を提供してまいります。



地域貢献

【東京本部にて「福島マルシェ」開催

8月22日に東京本部ビルの正面入り口において、福島県東京事務所と共に、福島県復興応援フェア「福島マルシェ」を開催しました。福島県発祥の企業として福島県の復興を支援し、復興の現状への理解を深めてもらう機会として、今回が2回目の開催となりました。天候にも恵まれ、大勢の方にお越しいただきました。



【福島大学附属中学校で「子ども科学教室」を開催

「企業などによる外部派遣講師による学習」を行っている福島大学附属中学校で、7月7日に中学1年生を対象にした「子ども科学教室」を行いました。本企画は、福島大学附属の小・中学生を対象に、2007年から毎年実施しているものです。

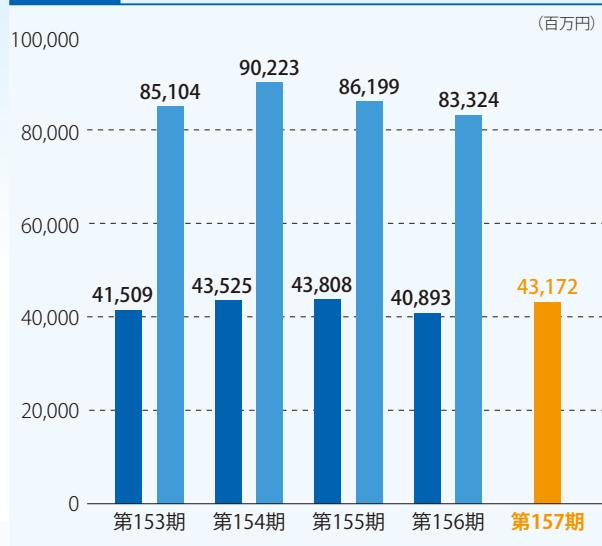
今年は「工場における環境問題と対策」というテーマで講義。終了後には「福島工場ではガラスファイバーを生産すると同時に、環境にも配慮した様々な取り組みをしていることが分かった」などの感想があり、環境問題に対して興味を持ってもらえたようでした。

また「スライム製作」や「ペーパークロマトグラフィー」といった科学実験を行い、科学が現代の生産活動に応用されていることを、楽しみながら体験してもらいました。

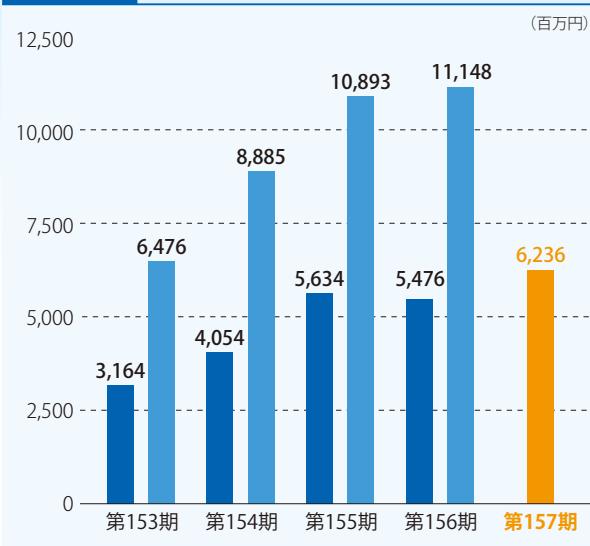


■ 第2四半期累計期間 ■ 通期

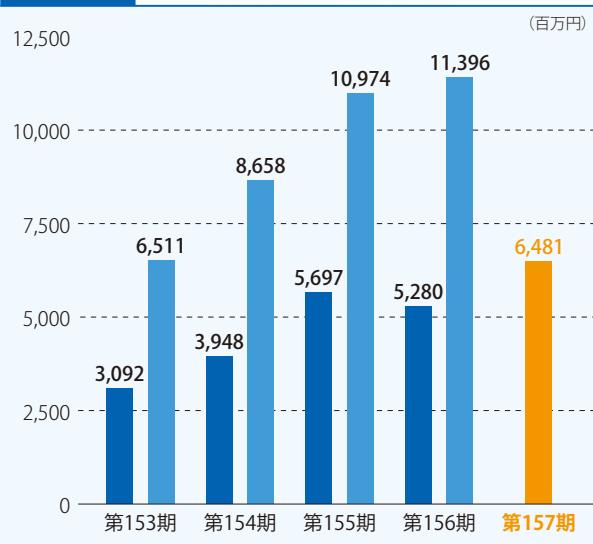
売上高



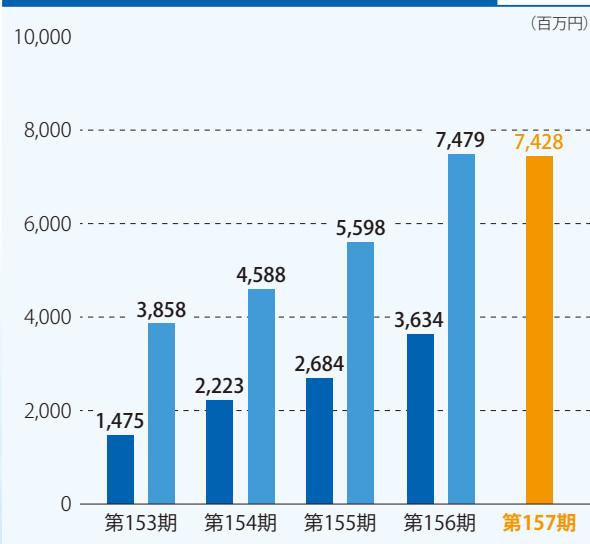
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



連結貸借対照表（要旨）

(百万円)

科目	当第2四半期 連結会計期間末 2017年9月30日	前期末 2017年3月31日
(資産の部)		
流動資産	74,603	67,660
現金及び預金	21,542	18,229
受取手形及び売掛金	27,126	24,077
たな卸資産	23,309	21,365
その他	2,625	3,988
固定資産	71,616	72,521
有形固定資産	40,136	42,053
建物及び構築物	11,950	12,156
機械装置及び運搬具	8,629	8,697
土地	14,718	16,847
その他	4,837	4,351
無形固定資産	1,594	1,687
投資その他の資産	29,885	28,780
投資有価証券	27,135	25,443
その他	2,750	3,336
資産合計	146,220	140,182

(百万円)

科目	当第2四半期 連結会計期間末 2017年9月30日	前期末 2017年3月31日
(負債の部)		
流動負債	31,055	28,946
支払手形及び買掛金	10,187	7,806
短期借入金・ 1年内返済予定の長期借入金	10,313	11,574
その他	10,554	9,565
固定負債	29,719	32,954
長期借入金	8,808	11,667
退職給付に係る負債	10,708	11,051
その他	10,202	10,236
負債合計	60,775	61,901
(純資産の部)		
株主資本	79,166	73,292
資本金	19,699	19,699
資本剰余金	19,037	19,037
利益剰余金	42,960	36,313
自己株式	△2,530	△1,757
その他の包括利益累計額	5,376	4,097
その他有価証券評価差額金	6,555	5,382
為替換算調整勘定	886	935
退職給付に係る調整累計額	△2,066	△2,220
非支配株主持分	901	890
純資産合計	85,444	78,281
負債純資産合計	146,220	140,182

連結損益計算書（要旨）

(百万円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 2017年4月1日～ 2017年9月30日	前第2四半期 連結累計期間 2016年4月1日～ 2016年9月30日
売上高	43,172	40,893
売上原価	27,552	26,237
売上総利益	15,620	14,656
販売費及び一般管理費	9,383	9,179
営業利益	6,236	5,476
営業外収益	540	394
営業外費用	294	590
経常利益	6,481	5,280
特別利益	4,033	5
特別損失	120	55
税金等調整前四半期純利益	10,394	5,230
法人税等	2,949	1,573
四半期純利益	7,445	3,657
非支配株主に帰属する四半期純利益	16	22
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,428	3,634

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

(百万円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 2017年4月1日～ 2017年9月30日	前第2四半期 連結累計期間 2016年4月1日～ 2016年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,873	5,303
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,510	△924
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,000	△2,116
現金及び現金同等物に係る換算差額	△48	△472
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,334	1,790
現金及び現金同等物の期首残高	17,428	17,466
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,762	19,256

企業詳細

社名	日東紡（登記名：日東紡績株式会社）
本店所在地	福島市郷野目字東1番地
本部所在地	〒102-8489 東京都千代田区麴町二丁目4番地1
創業年月日	明治31年2月 郡山絹糸紡績株式会社（郡山）設立 大正7年4月 福島精練製糸株式会社（福島）設立 大正12年4月 日東紡績株式会社創立
資本金	196億円
従業員	778名（2017年3月31日現在）
ホームページ	http://www.nittobo.co.jp

主な営業所・工場・研究所等

大阪支店	〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4-3-10 （日生伏見町ビル新館）
名古屋支店	〒460-0003 名古屋市中区錦2-14-21 （円山ニッセイビル）
福島工場	〒960-8161 福島市郷野目字東1
富久山事業センター	〒963-8061 郡山市富久山町福原字塩島1
新潟事業センター	〒950-0065 新潟市東区東新町6-50
泊事業センター	〒939-0744 富山県下新川郡朝日町平柳500
伊丹生産センター	〒664-8501 伊丹市桑津1-6-1
千葉事業センター	〒263-0004 千葉市稲毛区六方町210
ファイバー研究開発センター	（福島工場内）
メディカル研究開発センター	（富久山事業センター内）
スペシャリティケミカルズ研究開発センター	（富久山事業センター内）

連結子会社

（2017年10月1日現在）

（株）日東紡インターライニング	ニッターポー新瀉（株）
日東紡（中国）有限公司	富士ファイバークラス（株）
日東グラスファイバー工業（株）	NITTOBO ASIA Glass Fiber Co., Ltd.
日東グラステックス（株）	（株）双洋
日東紡澳門玻纖紡織有限公司	パラマウント硝子工業（株）
（株）日東紡テクノ	ニッターポーメディカル（株）
ニッタービバレッジ（株）	日東紡エコロジー（株）
Nittobo America Inc.	

その他5社

取締役

（2017年10月1日現在）

取 締 役	辻 裕 一
取 締 役	西 坂 豊 志
取 締 役	増 田 米 博
取 締 役	野 崎 有
社 外 取 締 役	濱 邦 久
社 外 取 締 役	香 田 忠 維
社 外 取 締 役	上 林 博
社 外 取 締 役	尾 内 正 道

執行役

（2017年10月1日現在）

代 表 執 行 役 社 長	辻 裕 一*
専 務 執 行 役	戸 田 数 久
常 務 執 行 役	増 田 米 博*
常 務 執 行 役	野 崎 有*
常 務 執 行 役	竹 内 実
常 務 執 行 役	前 山 茂
執 行 役	木 村 和 博
執 行 役	宇 津 木 和 之
執 行 役	五 十 嵐 和 彦
執 行 役	谷 川 治 仁
執 行 役	多 田 弘 行
執 行 役	石 原 英 幹

*は取締役兼務

技 監

（2017年10月1日現在）

技 監	今 野 敏 裕
-----	---------

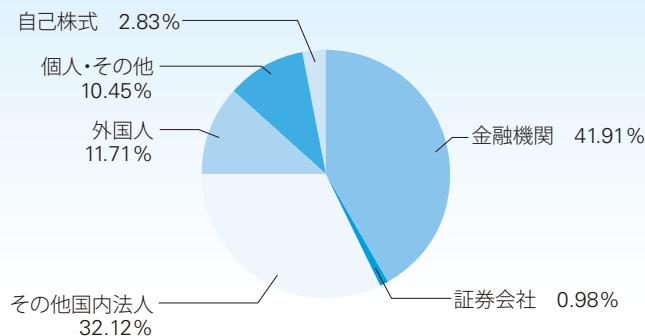
株式の状況

(2017年9月30日現在)

発行済株式総数	199,677,560株
株主数	11,418名

所有者別分布状況

(2017年9月30日現在)



大株主

(2017年9月30日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	12,950	6.67
住友不動産株式会社	11,917	6.14
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	11,313	5.83
日本生命保険相互会社	8,073	4.16
第一生命保険株式会社	6,580	3.39
ユニゾホールディングス株式会社	5,567	2.87
住友生命保険相互会社	5,412	2.79
株式会社TSIホールディングス	5,220	2.69
株式会社みずほ銀行	5,000	2.58
エア・ウォーター株式会社	4,986	2.57

※持株比率は、自己株式を控除して計算しています。

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会の議決権 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告をして定めます。
公告方法	当社のホームページ (http://www.nittobo.co.jp/) に掲載します。 ただし、事故やその他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
証券コード	3110
単元株式数	100株
上場取引所	株式会社東京証券取引所
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
郵便物送付先 電話お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝休日を除く9:00~17:00)

■ 単元株式数の変更および株式併合に関するご案内

当社は、第156回定時株主総会の決議に基づき、2017年10月1日をもって、単元株式数の変更および株式併合を実施いたしました。

1. 単元株式数を1,000株から100株に変更いたしました。
2. 当社の普通株式5株につき1株の割合で併合いたしました。

なお、株主様におかれましては、単元株式数の変更および株式併合に伴う特段のお手続きの必要はありません。

株式併合による影響

株式併合により、株主様をご所有の当社の株式数は併合前の5分の1となりますが、その前後で会社の資産や資本は変わりませんので、株式市況の変動等他の要因を除けば、株主様をご所有の当社株式の資産価値に変動はありません。

1株未満の端数株式の処理について

株式併合に伴い、1株未満の端数株式が生じた株主様には、会社法の定めに基づき当社が一括して処分し、その処分代金を第157期中間配当金に合算してお支払いいたします。

※第157期中間配当金については、株式併合前の株式数に応じて支払われます。

日東紡績株式会社

〒102-8489 東京都千代田区麹町二丁目4番地1 (本部所在地)

